

# 空を見上げてみませんか？

## 佐賀市星空学習館へ行ってみよう

4月1日（金）、旧西与賀コミュニティセンターが星と科学が楽しく学べる施設「佐賀市星空学習館」に生まれ変わりました。

外観や設備はそのままに、大きく変わったのはその中身。佐賀天文協会の運営で、天文指導員2人を含む、星に関する知識豊富なスタッフが常駐し、いつでも詳しく説明してくれます。

毎週決まった時間に星の観察会が行われ、星になじみのない人でも楽しみながら宇宙の神秘に触れることができるのが一番の特徴です。

「夜だけでなく昼間でも星を見られるですよ」と言う天文指導員 大田 千尋さんの言葉にびっくり。

まだ薄暗い夕方にも関わらず、屋上に設置された望遠鏡をのぞいてみると、月のクレーターまでくっきりと見ることができ、感動しました。

19時30分からはフルートの音色とプラネタリウムを楽しむイベントが行われ、参加した皆さんはゆったりとした時間を楽しんでいました。

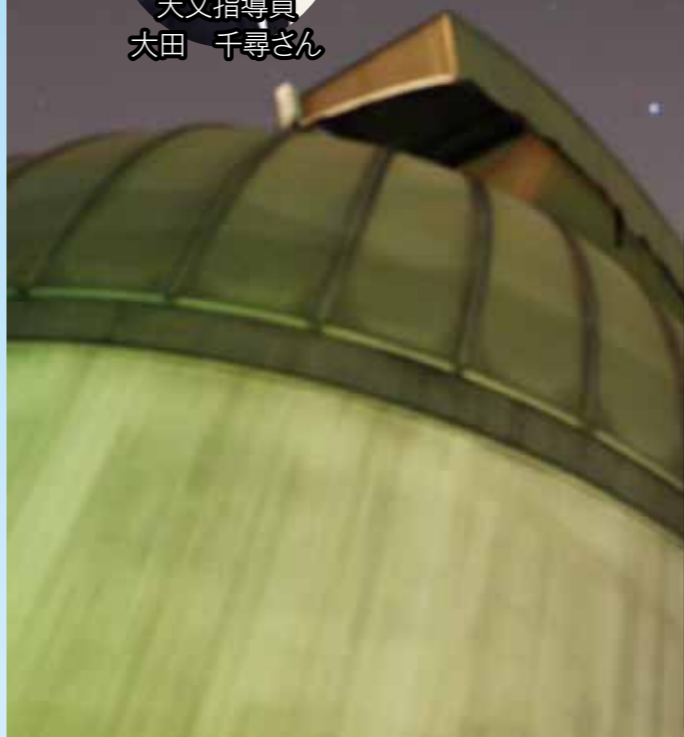
今後は、星や科学の講座と、音楽や季節の行事などを組み合わせたイベントも企画される予定です。お楽しみに。

### 企画・編集

本庁 秘書課 広報係  
 ☎ 40・7021 FAX 24・3463  
 ✉ hisho@city.saga.lg.jp



天文指導員  
大田 千尋さん



星空学習館外観



20cm屈折赤道儀望遠鏡



巨大スクリーンでは迫力のある映像がご覧いただけます。



4月9日（土）の「音楽と星のしらべ」には、夫婦や家族連れが参加し、イベントを楽しみました。



美しい音色を奏でた「まっむしろう」の皆さん

# 熱気球世界選手権に向けて！「藤田雄大選手」に聞く

## 第4回 歩み始めた瞬間



熱気球世界チャンピオン  
藤田雄大 (29)

今回は、藤田選手が熱気球と関わるきっかけとなった家庭環境や、友人関係などについて増本選手が聞き出した。

### 身近な存在

増本…藤田君が熱気球に関わるようになったのは、もちろんお父さんたちが熱気球の販売店をやっているからだろうけど、自分から後をつけて行ったのか、それとも無理やり連れて行かれたのかどっちですか？

藤田…最初は、「ついでにささい」って感じでしたが、国内の大会には雄介君（日本を代表する熱気球パイロット、水上孝雄選手の

### 学生時代

増本…気球が生活の一部のような家庭環境で育ったわけですね。ところで、熱気球を本格的にやってみたいと思ったのはいつ頃からですか？

藤田…自分でやって、おもしろいなと思ったのは、中学生ぐらいの時ですかね。気球が田んぼに降りた時などは、そこから移動させるためにバーナーをたくんですが、そこで気球を操縦する楽しさを覚えたのが最初でした。ずっと親父が飛ぶのを見ていただけだったので甘く見ていたのですが、実際に地面すれすれに飛んでみると、何度も地上に接触をしなければ。これは意外と難しいなあと思った時に、もっとうまくやりたいって思ったんですね。

増本…世界チャンピオンへの道を歩み始めた瞬間ですね。高校の頃には、日本中の大会に来てましたよね。

藤田…高校生ぐらいから本格的にトレーニングを始めて、ローカル大会にもちよくちよく出るようになったので、高校では特に部活は休みがちでしたね。

増本…僕たちは、雄大君がどこかの大学に進学するのか興味を持っていたんですが、意外や意外、

立教大学に進んだので、どうして立教大学を選んだのかな？と不思議に思いました。

藤田…立教大学を選んだ一番の理由は、推薦で早く受験を終わらせたかったからです。それに、僕が入った頃には、熱気球のOBチームもありましたし、2年生までは現役のチームがありましたから。

藤田選手は、立教大学2年生で出場した佐賀インターナショナルバルーンフェスタで、いきなり日本選手権第2位。このとき日本選手権で優勝した増本選手と一緒に、翌2008年にオーストラリアで開かれた熱気球世界選手権に出場した。



◎企画・編集・問い合わせ  
 本庁 商業振興課  
 ☎ 40・7106  
 FAX 26・6244  
 ✉ shogyo@city.saga.lg.jp



インタビュー 佐賀市出身  
 インタビュー 2009年日本チャンピオン  
 増本嘉浩 (42)

▲2009年日本選手権表彰式